

筑波大学大学院研究科・専攻における人材の養成に関する目的及び その他教育研究上の目的

平成 29 年 4 月

1. 人文社会科学研究科の人材養成の目的

人や社会の営み、人と社会の関係の考察・分析に係わる人文社会科学の基礎研究において優れた能力を有し、学問の進展や社会的要請の変化に応じて人類の知の継承に貢献し得る人材、またグローバル化の展開に伴う地球規模の課題や社会的課題に果敢に挑戦し、人間の存在や人と社会との関係において望ましいあり方を構想し得る独創性と柔軟性を併せもつ研究者・教育者、社会的課題に対応する高い専門性と実務能力を有する高度専門職業人を養成します。

専攻名	人材養成の目的
哲学・思想専攻 (一貫制博士課程)	本専攻は、哲学分野、倫理学分野、宗教学・比較思想学分野の3分野において高度の学術研究を志向し、次世代の思想と文化を担うべき自立した研究者・教育者、ならびに高度専門職業人を養成します。
歴史・人類学専攻 (一貫制博士課程)	歴史学と人類学の両分野における各専門領域の探求を軸として、独創性と高度な研究能力を備えた学究型の研究者・大学教員の養成、並びに研究成果を社会に還元できる実践型の高度専門職業人を養成します。
文芸・言語専攻 (一貫制博士課程)	文学分野・言語学分野それぞれにおける基礎研究の深化・充実を図るとともに、両分野の融合によって、文学と言語学との個別性や方法論的差異を超えた独創性と研究能力を有する研究者・教育者の養成、並びに言語と文化に関する深い理解と豊かな学識を備えた高度専門職業人を養成します。
現代語・現代文化専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>現代文化、言語情報の両分野において、現代の社会が内包する諸問題を見定め、分析し、解答へと導きうるような思考力・研究力を備え、高度な専門知識をもって社会で活躍しうる人材、さらに高度な研究者を志向する人材を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>現代文化、言語情報の両分野において、現代の社会が内包する諸問題を見定め、分析し、解答へと導きうるような思考力と研究力を備え、かつ、そこで得た知見をもって世界と結びうる発信力と言語能力を備えた研究者・大学教員、高度専門職業人を養成します。</p>

<p>国際公共政策専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>国際公共政策専攻は、政治学、社会学、国際関係学の各専門領域の教員から構成され、Global Studies、Area Studies、Domestic Studies の有機的結合で公共の利益に資する人材の養成を目的とします。各領域の高度な専門性及び学際性を備えた教育と研究指導を通じて、専門知識を基盤とし、グローバル化、複雑化する現代の国際問題や社会・文化問題に柔軟に適用できる幅広い知識と実践的な問題解決能力を身につけた高度専門職業人および国際的水準の研究能力をもった研究者を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>国際公共政策専攻は、政治学、社会学、国際関係学の各専門領域の教員から構成され、Global Studies、Area Studies、Domestic Studies の有機的結合で公共の利益に資する人材の養成を目的とします。グローバル化、複雑化する現代の国際問題や社会・文化問題に対し、政策提言や問題解決の方策を提言できる柔軟な思考力と実践的な研究能力を備えた研究者・大学教員、高度専門職業人を養成します。各領域の高度な専門性及び学際性を備えた教育と研究指導を通じて、国際的水準の研究能力や国際公共政策の実務に必要な問題解決能力を備え、国際社会の諸課題に関して時代をリードし、グローバルオピニオンを形成できる人材を養成します。</p>
<p>国際地域研究専攻 (修士課程)</p>	<p>特定の地域や国家に関する政治経済、社会文化、歴史等の総合的な知識の修得を目指す「地域研究 (area studies)」を通して、その地域や国家について学際的な見識を備えた研究者や教育者および国際協力や国際貢献のさまざまな現場で活躍できる高度な専門職業人の養成を目的とします。</p>
<p>国際日本研究専攻 (博士前期課程)</p>	<p>専門的知識を習得し、それをもとに日本や世界が直面する問題に正面から取り組むことのできる高度専門職業人及び専門家（基礎レベル）の育成を目指します。グローバル化する社会の中で、国際的・比較的な視野のもとに日本の文化・社会について人文科学、社会科学に跨がる研究及び教育能力を有し、その成果を広く国内のみならず海外にも発信していただける研究者・教育者を養成すること、並びに人文科学、社会科学両分野の専門的かつ国際的な学識を備え、世界で活躍する高度専門職業人の養成を目的とします。前期課程では関連する専門領域・ディシプリンに</p>

	ついて基礎から学びながら、問題発見・解決のための基礎的能力を養成します。
国際日本研究専攻 (博士後期課程)	専門的知識を駆使し、それをもとに日本や世界が直面する問題に正面から取り組んで解決することのできる高度専門職業人及び専門家、研究科の育成を目指します。グローバル化する社会の中で、国際的・比較的な視野のもとに日本の文化・社会について人文科学、社会科学に跨がる研究及び教育能力を有し、その成果を広く国内のみならず海外にも発信していける研究者・教育者を養成すること、並びに人文科学、社会科学両分野の専門的かつ国際的な学識を備え、世界で活躍する高度専門職業人、研究者の養成を目的とします。後期課程では関連する専門領域・ディシプリンの学習を高度なレベルまで追求し、問題発見・解決のための高度な能力を養成します。

2. ビジネス科学研究科の人材養成の目的

ビジネスの分野における高度専門職業人の養成・再教育に関する社会的要請に応えるため、社会人を主たる対象として、企業や社会が直面する新たな類型の問題について総合的かつ高度な判断能力を持ち、適切な解決策を提示できる高度専門職業人や法曹を養成します。

専攻名	人材養成の目的
経営システム科学専攻 (博士前期課程)	ビジネスの変革、技術の複雑化に伴う新たな経営課題に対応可能な高度専門職業人の養成を目的としています。
企業法学専攻 (博士前期課程)	企業法学の分野における人材需要に応じて、現代社会において企業が直面する法的諸問題について適切な解決策を提示できる法学的専門能力を有する高度専門職業人の育成・再教育を目的とします。
企業科学専攻 (博士後期課程)	高度専門職業人の養成・再教育に対する社会的要請に応え、企業や社会が直面する新たな類型の問題について、総合的かつ高度な判断能力を持ち適切な解決策を提示できる高度専門職業人、及びその経験を有効に活用し得る研究者の養成を目的とします。
国際経営プロフェッショナル専攻 (専門職学位課程)	「高度専門職業人」として、国際社会や文化の多様性を理解し、変化するビジネス環境に適合した適切な行動を導くことができる知識・技能・資質をもった経営専門職、特に、経営に関するコア力量を持つビジネスマネジャー、国際対応力量に秀でたカントリーマネジャー、応用情報技能に秀でたプロジェクトマネジャーの3タイプのグローバルマネジャーを系統育成することを目的としています。

法曹専攻 (専門職学位課程「法 科大学院」)	社会人としての実務経験等を有する者が司法試験に合格した後、裁判官・検察官・弁護士という一般法曹実務家として、あるいは企業もしくは行政機構等さらには国際機関において、社会人としてすでに獲得した知識・経験・技能を活用できる高度専門職業人を養成します。
------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

3. 数理物質科学研究科の人材養成の目的

自然科学の基礎とその科学技術への応用分野において、高度な教育・研究指導を行い、急激な社会の変化に的確に対応できる基礎から応用まで幅広い視野と優れた研究能力を備えた研究者並びに高度専門職業人を育成します。

【博士前期課程】

幅広く深い学識の涵養を図り、専門分野における研究能力又はこれに加えて高度の専門的な職業を担うための卓越した能力を有する人材を養成します。

【博士後期課程 (3年制博士課程を含む)】

専門の分野について、研究者として自立して研究活動を行うに足る、又は高度の専門性が求められる社会の多様な方面で活躍し得る高度の研究能力とその基礎となる豊かな学識を備えた人材を養成します。

専攻名	人材養成の目的
数学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>純粋数学から応用数学まで幅広い視野を持った研究者、教育界を担うべく数学力を十分に備えた教育指導者、社会第一線で数理科学能力を存分に発揮できる高度専門職業人等の人材を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>純粋数学から応用数学まで幅広い視野を持った国際的に活躍できる研究者を育成し、教育界や産業界などの社会的指導者と高度な数学的知識を様々な分野に応用できる人材を養成します。</p>
物理学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>自然科学の基礎である物理学について専門的な知識と幅広い視野を持ち、物理学関連分野における研究を行う基礎的能力と高度な専門的職業を担うための柔軟な応用力を持つ人材を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>最先端の物理学研究を主体的に遂行することを通して、自ら問題を見出し、それを探求し、解決する能力を培い、アカデミア及び公共機関・社会において自立した研究者として活躍できる人材を養成します。</p>

<p>化学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>化学とは、電子・分子のレベルで物質の構造や反応を解明し、自然界における現象への理解を深めると共に、新物質の創製とそれらの持つ新しい機能の発現について研究を行う学問分野です。こうした分野で、世界的視野を持って独創性を発揮できる人材の養成を目的としています。特に前期課程では、高度専門職業人として、さまざまな専門分野における研究の担い手となる人材を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>新物質の創製とそれらの持つ新しい機能に関わる研究分野で、世界的視野を持って独創性を発揮できる人材の養成を目的としています。特に後期課程では、化学分野における最先端研究テーマの提案、適切な研究計画の立案、およびその研究の円滑な推進が実践できる高度専門職業人の育成を目的とします。</p>
<p>ナノサイエンス・ナノテクノロジー専攻 (博士後期課程)</p>	<p>ナノサイエンス・ナノテクノロジー分野において俯瞰的視野とイノベーション推進能力を有する教育者、研究者、高度専門職業人を養成する。</p>
<p>電子・物理工学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>物理学を中心とする自然科学を基礎とした応用物理計測、ナノ工学、電子デバイス等の技術分野において、高度専門分野の理解と発展、さらに工学的実践に欠かすことのできない基礎能力をもち、10年、20年先の技術分野の開拓と発展に寄与することができる、高い先見性を持ち、創造性豊かで優れた研究・開発能力をもつ研究者、高度専門職業人の養成を目的とします。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>物理学を中心とする自然科学を基礎とした応用物理計測、ナノ工学、電子デバイスの分野において、世界的レベルの研究および技術開発、さらに工学的実践を先導する、創造性豊かな優れた研究・開発能力を持つ研究者、あるいは、高度な専門知識・能力をもつ高度専門職業人を養成することを目的とします。</p>
<p>物性・分子工学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>研究者・技術者として自立するのに必要な基礎学力と研究能力を備え、量子物性、量子理論、材料物性及び物質化学・バイオ工学等の物質工学における専門分野についての研究を行い得る研究者、基礎研究能力</p>

	<p>を持って社会に貢献できる高度専門職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>研究者として自立するために必要な研究能力を備え、量子物性、量子理論、材料物性及び物質化学・バイオ工学等の物質工学における専門分野についての深い知識と高度な研究を行い得る研究者、高度な研究能力を持って社会に貢献できる高度専門職業人を養成します。</p>
物質・材料工学専攻 (3年制博士課程)	<p>(国研)物質・材料研究機構との関係の下で、機構の精鋭の研究者が大学院教員として博士課程の研究指導を行い、国際的な研究環境の中で金属・セラミック材料工学、ナノ材料工学、有機・生体材料工学、物理工学、半導体材料工学などの、物質・材料工学分野における高度な研究型専門職業人を養成します。</p>

4. システム情報工学研究科の人材養成の目的

「システム」、「情報」、「社会」が融合・複合する先端的な学際新領域において、グローバルな広い視野と多様で柔軟な思考力を持ち、リーダーシップを発揮しながら現実世界の複雑で困難な問題を解決する独創力・発想力を備え、研究者、高度専門職業人あるいは大学教員として世界で活躍できる人材を養成します。

専攻名	人材養成の目的
社会工学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>資産・資源のデザイン（ファイナンス・最適化）、空間・環境のデザイン（都市計画）、組織・行動のデザイン（行動科学）の3つの分野全般の知識を有し、少なくとも1つの分野で専門家と呼ぶにふさわしい工学的なスキルによる問題解決能力を持った、高度専門職業人・国際的スペシャリストを養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>資産・資源のデザイン（ファイナンス・最適化）、空間・環境のデザイン（都市計画）、組織・行動のデザイン（行動科学）の3つの分野全般の知識を有し、少なくとも1つの分野で専門家と呼ぶにふさわしい工学的なスキルを備え、自ら問題発見・問題解決のプロセスを完遂して、国際的に評価の高い研究成果を創出できる「未来構想のための工学に立脚した問題発見・解決型人材」（大学教員、高度専門職業人、研究者等）を養成します。</p>

<p>リスク工学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】 今日我々を取り巻く情報ネットワークや巨大システムの及ぶ範囲が広がるにつれて、リスクすなわち不確実性とその影響の大きさはますます増大しています。多様なリスクを科学的かつ工学的な方法により解明できる高度な技術をもち、実社会で活躍できる高度専門職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】 今日我々を取り巻く情報ネットワークや巨大システムの及ぶ範囲が広がるにつれて、リスクすなわち不確実性とその影響の大きさはますます増大しています。多様なリスクを工学的な方法により解明し制御できる高度な技術をもち、実社会で国際的に活躍できる高度専門職業人、及び深い理論的基盤と高度な実践力を有した研究者・大学教員を養成します。</p>
<p>コンピュータサイエンス専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】 コンピュータサイエンスの幅広い分野にわたる専門的知識と技術力、専門分野に関するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、研究開発を遂行するための基礎的能力を備え、これらの知識と能力を応用して、実社会の様々な問題を解決することのできる研究者および高度専門職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】 コンピュータサイエンスの幅広い分野にわたる深い専門的知識と技術力、専門分野に関するコミュニケーション能力とプレゼンテーション能力、高い独創性を持って研究開発を遂行する能力を備え、これらの知識と能力を応用して、先端的研究開発や実社会の様々な問題解決を先導できる研究者および高度専門職業人、大学教員を養成します。</p>
<p>知能機能システム専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】 人間、コンピュータ、機械、通信、センシングの各分野に関する基礎理論を身につけ、それらを広い視野に立って有機的に統合するシステムを構築することのできる高度専門職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】 人間、コンピュータ、機械、通信、センシングの各分野のうち、複数の分野にまたがる幅広い問題解決能力を身につけ、それらに関連する研究プロジェクト等における企画、管理、運営及び人材養成ができる研究者及び高度専門職業人、又は広範な研究分野において自立した研究を遂</p>

	行するとともに体系的な教育ができる大学教員を養成します。
構造エネルギー工学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などのいずれかの工学分野において高度の専門知識を有するだけでなく、関連する周辺分野にも横断的な視野を持ち、本質的な問題を抽出して独自の解決方法が提案でき、その成果を国の内外に効果的に発信できる能力を有する研究者および高度専門職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>機械、建築、社会基盤、エネルギー、航空宇宙などのいずれかの工学分野において高度の専門知識を有するだけでなく、関連する周辺分野に関する横断的な視野や国際的な情報発信能力を備え、研究プロジェクトを適切に管理・運営し、社会で主導的な役割を果たすことができる大学教員、研究者及び高度専門職業人を育成します。</p>

5. 生命環境科学研究科の人材養成の目的

生命科学と環境に関する専門分野の深い知識と研究能力、研究技術をもち、一方で、生命、人間、これらを取り巻く基盤である地球、自然環境、社会環境を幅広い視点でとらえ、独創的な発想で研究課題を発掘し、課題を解決する能力を持つ研究者と大学教員、高度専門職業人を養成します。

専攻名	人材養成の目的
地球科学専攻 (博士前期課程)	地球誕生から現在に至る地球の進化、大気圏・水圏・岩石圏でおこる様々な現象とそのプロセス及びそのような地球環境を舞台に展開される人間活動などについての総合的な知識を身につけ、かつ現代社会の諸問題の克服に必要な科学的思考力を持つ人材を養成します。
生物科学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>生命科学諸分野の基盤となる系統分類・進化学、生態学、植物発生・生理学、動物発生・生理学、分子細胞生物学、ゲノム情報学、先端細胞生物学、先端分子生物学の8分野において、広い学識と基本的な研究能力、問題探求能力と実践力をもつ博士後期課程進学者、中・高等学校教員、技術者および高度職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>生命科学諸分野の基盤となる系統分類・進化学、生態学、植物発生・生理学、動物発生・生理学、分子細胞生物学、ゲノム情報学、先端細胞生物学、先端分子生物学の8分野において、深い学識と高度かつ独</p>

	<p>創的な研究の遂行に必要な研究能力、問題発見能力と問題解決能力をもつ研究者、大学教員および高度職業人を養成します。</p>
<p>生物資源科学専攻 (博士前期課程)</p>	<p>人類が環境と調和しながら生存していくために、食料の安定供給や生物資源の開発、保全、持続的利用に関する様々な問題を解決できる人材を育成しなければいけません。農・生物・環境に関する生命・環境科学分野の研究を行うための基礎的な専門知識を身につけた研究者、および社会に出てこれらの問題解決に貢献するための幅広い専門知識を有する実務型社会人を養成します。</p>
<p>環境科学専攻 (博士前期課程)</p>	<p>身近な環境問題から地球規模の課題まで、俯瞰的な視点によりその背景や相互の関連を理解する基礎学力を備え、さらに問題解決に貢献し得る研究能力、あるいは社会的な実践能力をもった高度職業人を養成します。また英語プログラムにおいては、国際的に活躍できる環境リーダーを養成します。</p>
<p>地球環境科学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>地球環境科学に関する博士前期課程修了程度の専門的能力を有する者を対象に、地球環境の様々な現象のプロセスやメカニズムを研究し、人間環境を含めた多様な側面を総合的に解明できる能力を有し、国際的にも活躍できる研究者および大学教員を養成します。</p>
<p>地球進化科学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>地球惑星の誕生から現在に至る進化史の統合科学的探求を行うために、地質学、古生物学、岩石学、鉱物学、地球物理学とこれらの関連分野において、世界水準の研究を理解し、これに新たな知見を加えることのできる研究者を養成します。さらに社会の指導的・中核的役割を担う教育者(大学教員)、高度専門職業人の養成を重視します。</p>
<p>環境バイオマス共生学 専攻 (一貫制博士課程)</p>	<p>幅広い知識を有し、国際感覚をも備えながら、将来の環境・バイオマスエネルギー分野での課題に対して、自らの力のみならず、周囲の知的基盤を活用しつつ問題解決に取り組める研究者および高度専門職業人を養成します。</p>
<p>国際地緑技術開発科学 専攻(博士後期課程)</p>	<p>広い視野から農学をとらえ、農業生産のみならず、廃棄物を含む生物資源の循環利用、エネルギーの効率的利用、環境保全・修復に係わる技術、ポストハーベスト技術等に依拠し、トータルな社会経済システムを俯瞰し解析するための研究を遂行し、グローバルな視野を持って国際社会において成果を展開できる研究者および専門技術者を養成します。</p>
<p>生物圏資源科学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>地球規模で急務となっている食料、人口、環境をめぐる問題に対処するため、生物資源生産とその利用に関する研究を、グローバルな視野を</p>

	持って推進でき、将来のフィールドサイエンスおよび食料科学の先駆者として人類が生存できる全ての環境である生物圏を舞台として活躍できる研究者を育成します。
生物機能科学専攻 (博士後期課程)	細胞および生体における統御された生命現象を分子レベルで理解し、その機能の利用を目的とした技術開発を確実に行うことができる専門力を修得し、われわれ人類の生存基盤の安定化に貢献できる研究者、大学教員、高度専門職業人を育成します。
生命産業科学専攻 (博士後期課程)	21世紀に重要視されている食料・資源・エネルギー開発と環境保全技術が関係する生命産業の創成、およびこれらの素材となる生物資源の確保や流通、さらに新産業の創出や知的財産の確保に資する専門家・研究者、国際的視点から見た戦略や政策の確立の要求にも対応しうるグローバル・スタンダードな実務型博士を養成します。
持続環境学専攻 (博士後期課程)	博士前期課程修了程度の専門力を有する学生を対象に、地域スケールから地球規模まで多様かつ複雑な環境問題に対し学際的・臨床的・俯瞰的に対峙・解決するグローバルリーダーとしての役割をなし得る高度専門職業人、研究者、教育者等を養成します。
先端農業技術科学専攻 (3年制博士課程)	食料の安定供給、食の安全性、環境負荷への低減など、人類の福利厚生と自然との持続的共生のために農業生産が担うべき課題が非常に多い現在において、先端的、革新的な農業技術にかかわる研究開発や現場への応用・普及を展開し、直面する諸問題を解決しながら、我が国ひいては世界の農業の発展に貢献できる研究者ならびに高度専門職業人を養成します。

6. 人間総合科学研究科の人材養成の目的

本研究科は、心身に関する基礎から応用までの豊富かつ高度な教育研究を通して、それぞれの固有の学問領域においてより高度で国際的な視点に基づいた研究を計画実行できる研究者、「人間」に関する幅広い知識をもち優れた学際的な学術研究を計画実行できる研究者及び複合的な視点から人間を捉え柔軟かつ適切な援助を設計して社会的ニーズに対応できる高度専門職業人を養成することを目的とします。

専攻名	人材養成の目的
フロンティア医科学専攻 (修士課程)	医科学の包括的基盤教育とともに、社会的ニーズに対応した実践的で幅広い医科学関連領域の教育・研究を行い、研究者・大学教員あるいは高度専門職業人として安心して健康な社会の実現と維持のために活躍する

	人材を育成します。
看護科学専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>学際的及び国際的な視点に基づき、看護を科学的に探究する人材を育成することを目的とします。また、この目的を達成するために、修了後の進路に対応した以下のプログラムを設定します：①博士後期課程への進学に向けて研究基礎力を育成する看護科学プログラム、②専門看護師としての臨床実践能力を育成する高度実践看護プログラム、③高度な教育・実践能力を持つ助産師を育成する助産学プログラム。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>看護学の高度専門職者・管理者、教育者・研究者、政策・行政分野の看護・医療の専門家として専門的知識、技術を有するに留まらず、常に研究マインドを持って看護実践を検証していくことのできる能力を育成します。さらに、看護の専門領域だけではなく、「学際性」と「科学性」に基づく新しい看護の技術や教育・研究方法を開発できる能力を育成します。</p>
スポーツ健康システム・マネジメント専攻 (修士課程)	<p>スポーツと健康の推進に携わってきた実務経験をベースとして、両者の相乗的な推進効果を生み出す理念と方法を理解し、そのための基本政策や基本戦略を企画・立案・分析する能力、必要な資源を査定しシステム化する能力、高度なシステムを適切にマネジメントする能力、合理的なプログラムを開発する能力等を有した実践的な高度専門職業人を養成します。</p>
教育学専攻 (博士前期課程)	<p>教育の本質論を核として展開した教育学を体系的に理解し、教育の現実的課題を探究する方法論を修得することにより、幅広い国際的な視野と総合的な知識・技能を養うとともに、自立的・創造的な高度の研究能力を有する研究者の基盤および高度な実践能力を有する高度専門職業人を養成します。</p>
教育基礎学専攻 (博士後期課程)	<p>教育学研究に必須の広範な教養に基づき、教育哲学、教育史、学校経営学、教育制度学、教育行政学、比較・国際教育学、生涯学習・社会教育学、教育組織開発論、教育社会学などの専門分野の研究水準を理解し教育事象の研究をおこなうとともに、教育学の基幹領域である「教育基礎学」に関する高度な研究手法を習得することにより、最先端の教育学研究の地平を切り開き、教育の本質を探究することに貢献できる大学教員等の教育・研究機関に勤務する研究者を養成します。</p>

<p>学校教育学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>国内外の学校教育学研究の理論と方法について原理的な理解を深めるとともに、教科教育を中心とする学校教育の現実的諸問題を解決するために必要な研究と開発の能力を育むことにより、幅広い国際的な視野と総合的な知識・技能を養うとともに、自立的・創造的な高度の研究能力を有する大学教員および研究者を養成します。</p>
<p>心理専攻 (博士前期課程)</p>	<p>心理学全般の学習を基に、研究者や高度専門職業人に必要な心理測定の方法論や技能を習得し、心理学の基礎研究の成果および方法論等を社会に還元できる有為な人材を育成します。</p>
<p>心理学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>知覚・認知心理学、教育・発達心理学、社会心理学の各分野において、先端的な研究や教育を行える研究者・大学教員あるいは高度専門職業人を養成します。</p>
<p>障害科学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】</p> <p>障害科学に関わる科学的・実践的な研究を推進しうる研究基礎力を持った研究者、または、科学的な基盤を有し、実践の場での確に能力を発揮する、国内外のリーダーとなりうる有能な臨床・福祉実践に関わる高度職業人を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>障害に関連する多様な現実的課題や基礎的課題に即した先端的研究を行うとともに、グローバルな視点に立った障害科学関連分野における先導的教育を行うことのできる研究者並びに、豊かな教養と高い研究能力を備え、多様な専門職者との協働による問題解決能力と支援技術をもつ高度専門職業人を養成します。</p>
<p>生涯発達専攻 (博士前期課程)</p>	<p>現代職業人・臨床専門家に対し、生涯発達学の視点に基づきカウンセリングおよびリハビリテーションの包括的基盤教育を行うとともに、国際的・学際的な研究の成果と方法論等を習得し、他職種と連携して、職場や社会での諸課題について科学的・実践的・開発的に解決して社会に貢献する高度専門職業人や大学教員を養成します。</p>
<p>生涯発達科学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>生涯発達の各人生段階において遭遇する、心理・社会・教育・保健・医療・福祉などの幅広い領域における課題について、現職職業人の立場と経験を活かしつつ、生涯発達の視点から、包括的、組織的に解決する研究能力を備えた研究者、大学教員、研究型高度専門職等を育成します。</p>

<p>ヒューマン・ケア科学 専攻 (3年制博士課程)</p>	<p>人間を支援するためのヒューマン・ケア科学について、教育学・心理学・医学・保健学・福祉学・看護学等の各専門領域の連携と学問の融合の視点から理解し、総合的・多面的にヒューマン・ケアを研究し創造的に発展させる能力と実践的に応用するための技術を兼ね備えた大学教員、研究者および高度専門職業人の育成を目的とします。</p>
<p>感性認知脳科学専攻 (区分制博士課程)</p>	<p>【博士前期課程】 学際的視点に立って、人間のこころに関連した融合的研究課題を多角的に解析できる研究者と教育者、さらに多方面の知識と専門技術を社会で応用できる実践力を持ち、それぞれの組織で指導的牽引力となって複合的問題を解決できる高度専門職業人を育成します。</p> <p>【博士後期課程】 学際的視点に立って、人間のこころや感性に関連した広範な研究課題を多方向から解析でき、その成果を社会に向けて有効な形で還元し、社会に対するオピニオンリーダーとしての役割を担うことのできる、国際性が培われた大学教員・研究者を養成します。</p>
<p>スポーツ医学専攻 (3年制博士課程)</p>	<p>生涯スポーツを以下の観点から行うことができる国際的にも通用する人材で、</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 競技スポーツにおいて科学的な、そして外傷障害予防の見地から競技者の競技力向上の手法を持つ人材 ■ 高齢者スポーツにおいては個々の特性を十分把握して運動プログラムを作成・実施できること ■ 生活習慣病者において病いの予防を科学的見地から評価しそれらの運動プログラムを作成・実施できることを踏まえた研究者や現場で応用可能な高度専門職業人を養成することや、これらの人材を育てることのできる大学教員の養成を目的とします。
<p>体育学専攻 (博士前期課程)</p>	<p>スポーツ文化と社会環境、体育・スポーツ・健康に関する教育、そして身体と運動のメカニズムについて、現場で生起した問題に対して、専門領域の洞察力と総合的な視野をもちリーダーシップを発揮しながら解決する高度専門職業人を養成します。また、基盤となる科学研究の深化に向け、研究者の基礎を身につけた人材を育成します。</p>
<p>体育科学専攻 (博士後期課程)</p>	<p>グローバルな視点に立ち、卓越した研究・教育活動を行うために必要とされる高度な能力及びその基盤となる豊かな学識や実践力を培うことで、体育・健康・スポーツ科学の分野においてリーダーシップを発揮</p>

	し、社会的課題の解決に貢献する研究者、大学教員及び高度専門職業人を養成します。
生命システム医学専攻 (一貫制博士課程) ー医学の課程ー	科学的討論と敬愛の精神の徹底によって、創造的理性と協働の精神に富む個性豊かな先導的生命医科学研究者・大学教員を育成します。また、生命医科学の知識・技術とコミュニケーション能力を駆使して社会に貢献する人材の養成を行います。
疾患制御医学専攻 (一貫制博士課程) ー医学の課程ー	難治性疾患の病因解明そして新規治療戦略の開発を介して人類のライフサイエンスに貢献するために、医学・医療の進歩、人類への貢献、国際化対応、をめざし、未来を託す physician scientist、研究者、大学教員の育成を目的とします。
コーチング学専攻 (3年制博士課程)	教育系ならびに体育系の大学においてコーチングに関する高度な教育と研究を担当できる大学教員、各種競技団体やスポーツ関連組織において先導的役割を果たすことができる、高度専門職業人、研究者を養成します。さらに、国内だけでなく国際社会において、スポーツ指導者として活躍できる人材の育成を目指します。
スポーツ国際開発学共同専攻 (修士課程)	本共同専攻は、スポーツ・体育・健康に関する理論的実践的な知識を英語によって学び、国際平和と友好、豊かな地域生活の創造に寄与できる人材を養成することを目的とします。より具体的には、スポーツを通じて国内外の社会開発を担う人材、我が国の体育教育の制度と実践を理解し、諸外国に支援ができる人材、そして国際平和と友好、青少年教育を促進する国際機関で活躍できる人材の養成です。
大学体育スポーツ高度化共同専攻 (3年制博士課程)	筑波大学と鹿屋体育大学の大学体育スポーツに関する教育研究実績を活かし、大学体育スポーツを先導する確かな専門的知識と実技教育能力を兼ね備えた、現場の教育指導と研究の循環を効果的に行える学術的職業人としての高度な体育教員を養成します。
芸術専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>幅広い視野で造形芸術に関わる理論・実技の専門研究を行い、高度な技能と実際的な応用能力・企画力によって、今日の造形芸術の多様な展開に対応し、グローバル化した社会において指導的役割を果たすことのできる高度専門職業人・研究者を育成・再教育します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>造形芸術に関する幅広い学識と高度の研究能力をもつ研究者、ならびに卓越した専門的知識・実技能力を有する高度専門職業人を養成するこ</p>

	とを目的とします。
世界遺産専攻 (博士前期課程)	世界の文化遺産・自然遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然環境など様々な側面から総合的に把握し、その保護のための課題を解決する理論・技術を習得し、世界遺産条約に基づく世界遺産はもとより、広く国内外の文化遺産・自然遺産の保護に貢献できる高度専門職業人と研究者を育成します。
世界文化遺産学専攻 (博士後期課程)	世界の文化遺産・自然遺産の社会的・国際的役割を、地球環境と人間社会の持続可能性の達成を目的とする国際社会のアジェンダ、国際ガバナンスとの関係のもとに総合的に理解し、遺産が直面する問題の所在を政治・経済・社会・自然的要因に関連付けて分析し、その解決のための理論・技術を研究する高い能力を有する世界遺産学の研究者・大学教員、世界のトップリーダーとなる高度専門職業人を育成します。

7. 図書館情報メディア研究科の人材養成の目的

情報メディアによる社会の知識共有とその仕組みに係る研究を進展させ、新しい時代に向かって社会をリードする人材を養成します。具体的には、研究者、大学教員や高度専門職業人を育成します。

専攻名	人材養成の目的
図書館情報メディア専攻 (区分制博士課程)	<p>【博士前期課程】</p> <p>情報産業や図書館など情報提供サービスの実務においてリーダーシップを発揮する高度専門職業人として、理論と実践および創造力の調和のとれた人材、急速な発展をとげつつある分野にあって将来の動向を見通せる人材、研究者として必要な専門知識・技術を身につけて博士後期課程に進学する人材を養成します。</p> <p>【博士後期課程】</p> <p>知識情報社会のフロンティアを切り拓くことのできる国際的に活躍する研究者や高度専門職業人、さらには次世代の人材を育成することに秀でた教員等を養成します。</p>

8. 教育研究科の人材養成の目的

教育の普遍的課題と現代の教育界や社会におけるさまざまな教育課題に対処しうる、高度な専門性を有し、グローバルな視野と優れた教育実践力とともに、教職への情熱と使命感を持ち、スクーラーリーダーシップを備えた高度専門職業人としての教員を育成します。

専攻名	人材養成の目的
スクールリーダーシップ開発専攻 (修士課程)	学校教育における教育活動や組織・運営に関する総合的識見と高度の経営能力を有するマネジメント型リーダー及び学校における子どもの学習と生活に対する総合的な支援を企画・運営する高度専門職業人型のリーダーの養成と継続教育を目的とします。
教科教育専攻 (修士課程)	学校教育に関する深い教育的識見と教科教育に関しての研究能力および高度な実践的指導力を備え、各教科教育の分野において指導的役割を果たすことができる高度専門職業人としての教員の養成を目的とします。